

野菜の生育状況及び価格見通し（平成28年4月）について  
 （東京都中央卸売市場における主産地及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類 (だいこん及びにんじん)	生育は平年並み。
葉 茎 菜 類 (はくさい、キャベツ等)	はくさい、キャベツ及びレタスは、1～2月にかけて、気温が概ね平年を上回って推移したことにより、1月に定植したほ場において、生育が前進。 ほうれんそうは、2月下旬以降、気温が平年を下回る日があったため、生育が停滞。 ねぎの生育は平年並み。
果 菜 類 (きゅうり、なす等)	きゅうり及びピーマンの生育は平年並み。 なすは、2月中旬以降、日照時間が概ね平年を下回って推移したことにより、着果数量が減少。 トマトは、2月中旬以降、日照時間が概ね平年を下回って推移したことにより、着果数量が減少し、肥大不足となっている。
土 物 類 (ばれいしょ、さといも及びたまねぎ)	九州産のばれいしょは、1月下旬の降雪等に伴う茎葉の損傷により、小玉傾向となり、生育が遅延。 さといもは、貯蔵もののみの出荷期間。 九州産のたまねぎの生育は平年並み。

（各論）

品 目	主産地 ※（ ）書きは 27年4月の 入荷シェア	今 後 の 生 育 及 び 出 荷 見 通 し	価格見通し (平年(直近5か年平均)比)	
			4月前半	4月後半
だ い こ ん	千 葉(74%)	・ 関東の産地において、生育が平年並みであることから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u> する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
に ん じ ん	徳 島(74%)	・ 四国の産地において、生育が平年並みであることから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u> する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移

はくさい	茨城(88%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月は、<u>関東の産地</u>において、<u>1～2月にかけて、気温が概ね平年を上回って推移したことにより、1月に定植したほ場において、出荷が前進し、当該ほ場における残量が減少したこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は平年を上回って推移。</u></li> <li>4月は、<u>2月に定植したほ場の出荷時期。</u>当該ほ場の生育は<u>平年並み</u>であり、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u></li> </ul>	平年並みに回復	平年並みで推移
キャベツ	神奈川(46%) 愛知(36%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月は、<u>2～3月にかけて、気温が概ね平年を上回って推移したことにより、東海の産地において、出荷が前進したため、ほ場における残量が減少する見込みであるものの、後続の関東の産地においても、出荷が前進し、出荷数量が増加する見込みであるため、出荷数量全体では平年並みとなり、価格は平年並みで推移する見込み。</u></li> </ul>	平年並みで推移	平年並みで推移
ほうれんそう	茨城(33%) 群馬(29%) 埼玉(17%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月は、<u>関東の産地</u>において、<u>2月下旬以降、気温が平年を下回る日があり、生育が停滞したこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は平年を上回って推移。</u></li> <li>4月は、<u>天候が平年並みに推移すれば、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u></li> </ul>	平年並みに回復	平年並みで推移
ねぎ	千葉(45%) 埼玉(20%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月は、<u>関東の産地</u>において、<u>生育が平年並みであったものの、3月上旬の降雨の影響により、収穫が遅延したこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は平年を上回って推移。</u></li> <li>4月は、<u>天候が平年並みに推移すれば、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u></li> </ul>	平年並みに回復	平年並みで推移
レタス	茨城(66%) 兵庫(13%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月は、<u>東海の産地</u>において、<u>1～2月にかけて、気温が概ね平年を上回って推移したことにより、1月に定植したほ場において、出荷が前進し、平年よりも早く出荷終期を迎えたこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は平年を上回って推移。</u></li> <li>4月は、<u>関東及び近畿の産地</u>において、<u>生育が平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u></li> </ul>	平年並みに回復	平年並みで推移
きゅうり	埼玉(24%) 群馬(21%) 宮崎(14%)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>関東及び九州の産地</u>において、<u>生育が平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u></li> </ul>	平年並みで推移	平年並みで推移

なす	高知(51%) 福岡(21%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月は、<u>四国及び九州の産地</u>において、<u>2月中旬以降、日照時間が概ね平年を下回って推移したことに伴う着果数量の減少</u>により、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は平年を上回って推移。</u></li> <li>4月前半は、<u>出荷数量、価格ともに回復傾向であるものの、前月までの着果数量の減少による影響が残ることから、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></li> <li>4月後半は、<u>収穫時期を迎える着果数量が、現在平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。</u></li> </ul>	高値水準 で推移	平年並みに回復
トマト	熊本(28%) 栃木(23%) 愛知(11%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月は、<u>九州及び関東の産地</u>において、<u>2月中旬以降、日照時間が概ね平年を下回って推移したことに伴う着果数量の減少及び肥大不足</u>により、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は平年を上回って推移。</u></li> <li>4月前半は、<u>出荷数量、価格ともに回復傾向であるものの、前月までの着果数量の減少及び肥大不足による影響が残ることから、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></li> <li>4月後半は、<u>収穫時期を迎える着果数量が、現在平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。</u></li> </ul>	高値水準 で推移	平年並みに回復
ピーマン	茨城(48%) 宮崎(17%) 高知(12%)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>関東、九州及び四国の産地</u>において、<u>生育が平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u></li> </ul>	平年並み で推移	平年並み で推移
ばれいしょ	北海道(49%) 鹿児島(46%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道産の在庫数量が平年を上回るものの、九州の産地において、<u>1月下旬の降雪等に伴う茎葉の損傷により、小玉傾向となったことや、生育が遅延していること等から、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></li> </ul>	高値水準 で推移	高値水準 で推移
さといも	埼玉(46%) 千葉(32%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年産は、<u>収量が平年を下回る産地が多く、在庫数量が平年を下回ることから、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></li> </ul>	高値水準 で推移	高値水準 で推移
たまねぎ	北海道(46%) 佐賀(43%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州の産地において、<u>生育が平年並みであるものの、北海道産の在庫数量が平年を上回ることから、出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u></li> </ul>	安値水準 で推移	安値水準 で推移

注：「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。